

## 平成26年度第2回滋賀県生涯歯科保健推進協議会

### ●滋賀県生涯歯科保健推進協議会の目的等

滋賀県では、平成6年7月に「滋賀県歯科保健将来構想－8020歯つらつしがー」を策定し、同年11月、滋賀県における生涯にわたる歯科保健対策の推進について協議するため「滋賀県生涯歯科保健推進協議会」を設置しました。

平成25年3月には新たな「滋賀県歯科保健計画－歯つらつしが21－」（第4次）を策定し、平成34年度を目標年度として、それぞれのライフステージにおいて必要な歯科保健対策を実施しているところです。

当協議会は、滋賀県歯科医師会、滋賀県医師会、滋賀県薬剤師会、滋賀県歯科衛生士会、滋賀県栄養士会、滋賀県健康推進員団体連絡協議会、滋賀県市町保健師協議会、滋賀県市長会、滋賀県町村会、滋賀労働局、滋賀県保健所長会に委員として就任いただき、歯科保健事業実施計画に関すること、歯科保健事業の進捗状況に関すること、体系的な歯科保健研修の推進に関すること、関係機関および関係団体との連携に関すること、その他生涯歯科保健の推進に関すること等について、協議いただくものです。

### ●協議会の委員

委員名簿のとおり

### ●協議会の開催

平成27年3月19日（木）18：00～20：00

別添開催概要のとおり

お問い合わせ先

〒520-8577 大津市京町4丁目1-1

滋賀県健康福祉部健康医療課

TEL：077-528-3615

FAX：077-528-4857

滋賀県生涯歯科保健推進協議会 委員名簿

氏名	所属
佐藤 誠	滋賀県歯科医師会
森田 潤	滋賀県歯科医師会
中安 眞理子	滋賀県歯科医師会
木村 和弥	滋賀県歯科医師会
田中 和彦	滋賀県医師会
山口 豊子	滋賀県薬剤師会
山下 久美	滋賀県歯科衛生士会
小澤 恵子	滋賀県栄養士会
堀井 好子	滋賀県健康推進員団体連絡協議会
大田 和美	滋賀県市町保健師協議会（多賀町子ども家庭応援センター）
深町 ルミ	滋賀県市長会（湖南市健康福祉部健康政策課）
米田 志保子	滋賀県町村会（甲良町保健福祉センター）
小林 弦太	滋賀労働局労働基準部健康安全課
井下 英二	滋賀県保健所長会（甲賀保健所）

## 平成 26 年度第 2 回滋賀県生涯歯科保健推進協議会議事概要

日時：平成 27 年 3 月 19 日（木）

18：00～20:00

場所：県庁北新館 5-A 会議室

出席者	佐藤 誠	滋賀県歯科医師会	副会長
	森田 潤	滋賀県歯科医師会	常務理事（公衆衛生担当）
	中安 眞理子	滋賀県歯科医師会	理事（学校歯科担当）
	木村 和弥	滋賀県歯科医師会	理事（口腔衛生センター担当）
	田中 和彦	滋賀県医師会	理事
	山口 豊子	滋賀県薬剤師会	副会長
	山下 久美	滋賀県歯科衛生士会	副会長
	小澤 恵子	滋賀県栄養士会	
	堀井 好子	滋賀県健康推進員団体連絡協議会	副会長
	米田 志保子	滋賀県町村会	
	小林 弦太	滋賀労働局	
	井下 英二	滋賀県保健所長会	会長

欠席者	大田 和美	滋賀県市町保健師協議会
	深町 ルミ	滋賀県市長会

事務局	健康医療課	課長	嶋村 清志
		主幹	中村 ひとみ
		歯科衛生士	小幡 鈴佳
	教育委員会スポーツ健康課	主査	高田 毅
		指導主事	住吉 由加

### 会議内容

#### 議題

- (1) 滋賀県歯および口腔の健康づくりの推進に関する条例について
- (2) 滋賀県の歯科保健の現状について
- (3) 平成 26 年度の歯科保健事業実施結果について
- (4) 平成 27 年度の歯科保健事業について

◆ 開会

◆ 議事（議事進行：佐藤委員）

1. 滋賀県歯および口腔の健康づくりの推進に関する条例について

（事務局説明）

条例概要版により説明。

2. 滋賀県の歯科保健の現状について

（事務局説明）

資料1および滋賀県歯科保健資料集により説明。

事務局：訪問歯科診療の実績については、どのように評価されているか。

森田委員：増加傾向にあると考えている。

事務局：評価する月によって上下するので、年間平均でとるとか、同じ月でとるとか、何か評価の条件を検討するのもいいかもしれない。

井下委員：歯科医師、歯科衛生士による居宅療養管理指導は確実に増えているので、そのデータも重要である。

3. 平成26年度歯科保健事業の実施結果について

（事務局、委員説明）

資料3により説明。各団体・所属の取組について、情報交換をいたしました。

（歯科医師会）

学校等への出前講演は好評であったため、来年度開催回数を増やす予定。

成人期については、職域での歯科健診は増えないが、講話などの啓発機会は増加してきたので、これも拡大していきたい。今年度から、歯科医師のみの講話でなく、栄養士や歯科衛生士とのコラボ講師としている。

高齢期については、各圏域で積極的に研修会や地域連携会議等を行い、関係者との連携を深めている。さらに基金事業により、在宅診療機器の備品整備なども進めている。

学校歯科医研修会開催や、学校保健優良校表彰や、図画ポスターコンクール、作文コンクールなどの啓発を行っている。学校歯科医研修会については、外傷対策と食育についての研修をしていただいた。来年度は、新規事業として新たに学校歯科医になる会員に対してオリエンテーションを行う予定。

障害児者については、口腔衛生センター事業がメインである。近年のべ患者数が減ってきており、輪番制で診療を行っている歯科医師がノウハウを得て、地域で障害者の方が診てもらえる体制が整ってきているのではと考えている。

(医師会)

糖尿病の医科歯科連携については続けていきたい。また、肺炎を繰り返すことについて、肺炎球菌ワクチンの実施については医科が推進していくので、口腔ケアなどについて歯科で推進して欲しい。

(薬剤師会)

薬局は相談薬局機能を強化していきたいので、そのなかで、歯科処方薬が適正に使用されているか、どういった管理されているかということについて把握に努めたい。また、在宅患者が歯科ニーズをキャッチしたときには、歯科受診につなぐように役割を担いたい。お薬手帳を媒体に、医科歯科連携を進めていきたい。

(歯科衛生士会)

草津市や大津市から委託を受けて学校の歯科保健指導を行っている。企業検診も依頼があれば受けている。甲賀保健所におけるお口歯つらつ支援事業についてもお手伝いさせてもらっている。また、歯周疾患予防対策事業等も今年度から歯科医師会とともに実施させていただいている。

(栄養士会)

勤務している職場のなかで、嚥下食や糖尿病食などの栄養管理をしているので、そのなかで歯科と連携している。今年度、歯科医師会と連携して歯周疾患の出前講演をさせていただいた。今後もこのようなかたちで連携が進められたらと思っている。

(健康推進員団体連絡協議会)

幼稚園、保育園へ媒体を作って、歯磨き方法やおやつを食べ方について指導に行っている。また、高齢者については、お口の体操のDVDを作成し、ミニサロンで高齢者と実施したりしている。また、歯科医師会のイベントにおいて、啓発をさせてもらったりしている。

(甲良町)

フッ化物洗口を開始して7年たち、やっと成果が出てきているかなと少し安心している。庁内の連携が重要だということで、中学校の入学説明会の時に保健師が出向き、フッ化物洗口の説明をさせてもらった。

保護者歯科健診の受診率は4割程度なので、もう少し受診率向上が重要。特定健診歯科保健指導の待ち時間に歯科の啓発を行っている。

(労働局)

企業を通じて従業員やその家族に健康管理等の啓発ビラなどは配布できるので、また、その機会があれば依頼して欲しい。

(保健所長会)

市町の歯科保健事業の支援をするというのが基本スタンスである。今年度は、条例制定があったので、今年度はフッ化物洗口について研修会を開催した。今年度より甲賀市が妊婦歯科健診を実施

されたので、その事業評価について保健所と市で実施していきたい。

高齢期は、三つの通所介護事業所に介入して、口腔機能向上を進めた。災害時の対応については、県外の支援者が県内に入ってくることになる。行政の歯科職で行歯会というのを組織しているが、大規模災害時の口腔保健ニーズのアセスメント表を含めたマニュアルを作成中なので、これができるとう災害時の口腔保健の体制整備も進むと思う。

(スポーツ健康課)

学校保健優良校事業では、学校保健研究大会において優秀校には実践発表をしていただいたり、媒体を展示したりして啓発をはかった、

来年度は、条例制定を受けて、学校における歯および口腔の健康計画を策定していきすすめていく。学校保健研修会においても、歯科保健指導について研修内容を予定している。

学校保健優良校については、市町ごとに推薦の偏りがあるので、来年度は市町ごとに掘り起こしを行っていきたい。

(事務局)

欠席委員について、資料により報告。

#### 4. 平成 27 年度の歯科保健事業について

(事務局説明)

資料 4 により説明。

委員長：事務局から提案のあった生涯歯科保健推進協議会の開催回数についてはいかがか。

歯科医師会：提案いただいた考え方でよいだろう。

委員長：それでは、今後の協議会につきましては事務局の方でご検討いただき、またお示しいただきたい。本日の協議内容は以上である。ありがとうございました。

◆ 閉会